



**生産資材高騰や自然災害、情報通信網の整備等に関して
 道農政部宮田部長への要請を実施**

道農連の大久保委員長と中原書記長、事務局は9月2日、道農政部宮田大部長ら幹部職員へ「生産資材等の高騰対策及び局地的な自然災害対策・情報通信網整備の強化等に関する要請」を実施した。

要請では、北海道の「化学肥料購入支援金給付事業」の拡充強化や道独自予算による高騰対策などを求めたほか、近年は局地的な災害が頻発していることから、災害発生時には道として被害調査の早期実施を図るとともに、共済金や保険金等の早期支払いなど関係機関への働きかけなどを求めた。また、農地においては携帯電話の不感地帯が存在し、事故等の緊急時に繋がらないことが生じた場合、命に関わる危険性があるため、道として早期に通信環境の強化に向けて対応するよう求めた。

第3回米・水田農業対策委員会を開催

道農連は9月5日、第3回米・水田農業対策委員会(大久保明義対策委員長)を開催し、秋闘に向けて対策課題や対策方針素案などを協議した。

委員会終了後には、2022年産米の概算金決定内容と北海道米販売戦略などについて、ホクレン米穀事業本部と意見交換を実施した。

水活見直しに関してオール北海道で要請

道庁をはじめ、道農連も参画する「水田活用の直接支払交付金の見直しに係る関係機関連絡会議」は9月15日、道選出国會議員や農水省の平形農産局長らに対し、水活見直しに関して要請した。

要請行動には、道農連から大久保委員長が参加し、①地域における今後の産地形成に向けた支援、②需要に応じた米生産と水田有効活用の推進、③畑作物などの本作化に向けた支援の3つを柱に要請した。

9月の活動記録 (上記以外)

- 2日 水活見直しに係る総括WG
- 6日 第2回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
- 7日 道「農」ネットワーク事務局会議
- 8日 水活見直しに係る関係機関連絡会議
- 15日 日米共同訓練・オスプレイ移転訓練に関する道要請
- 17日 アフリカ支援米「収穫祭」；東鷹栖
- 21日 水活見直しに係る総括WG
- 26日 肥料関係事業説明会(オンライン)
- 27日 緊急畑作・野菜対策委員会(オンライン)
- 29日 北海道農業ジャーナリストの会第50回総会・2022年度第1回研究会

10月の活動予定

- 4日 道「農」ネットワーク事務局会議
- 5日 道農連女性書記の会総会・研修会(～6日)
- 7日 三役会議、第5回執行委員会
- 13日 道農業再生協議会第2回水田部会
- 21日 道「農」ネットワーク世話人会
- 25日 第4回米・水田農業対策委員会、道内食材評価に向けた学習・試食会
- 27日 第3回畑作・野菜対策委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(Tel.011-241-5416)まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

